

# 西部公民館だより

発行 西部公民館  
 神ノ郷町吉町田12-1  
 TEL:68-7233

日程	事業名称	実績	備考
9/24(日)	みんなで歩こう健康作り大会	済	
10/21(土)	生涯学習講座 押絵教室(1)	済	
10/25(水)	すこやか講座(7) 交通安全教室		
10/28(土)	生涯学習講座 押絵教室(2)		

## 学区文化祭のご案内

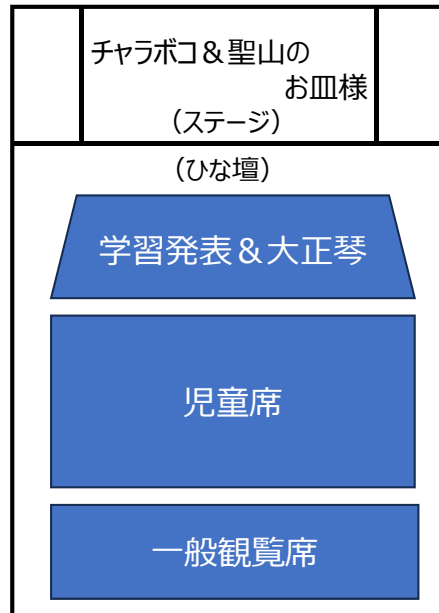
令和5年度蒲西学区文化祭が11月11日(土)に開催されます。以下、検討中のプログラムを掲載します。地域在住で都合のつく方は見に来てください。

- ねらい
  - ・学びの成果を他学年の児童、保護者、地域の方に発信し、学びの交流の場とする。
  - ・地域の文化活動に親しみ、そのよさを味わうとともに愛着をもつ。
  - ・学校、家庭、地域の連携連帯を強化し、「地域に開かれた学校」としての教育効果を高める。
  - ・コミュニティースクール実施を見すえた、地域交流のひとつの機会とする。

■会場 蒲郡西部小学校 体育館

### ■プログラム&時間割

- 8:50 体育館入場完了
- 8:55 はじめの言葉(校長先生挨拶)
- 9:00 チャラボコ発表(山本地区)
- 9:20 学習発表 1・2年
- 9:40 学習発表 5年
- 10:00 学習発表 3年
- 10:20 《休憩15分》
- 10:35 大正琴演奏
- 10:55 学習発表 4年
- 11:15 学習発表 6年
- 11:35 全校児童によるオペレッタ「聖山のお皿様」
- 11:55 おわりの言葉
- 12:15 一斉下校



※ 会場図はおおよその予定です。

## 歩け歩け健康作り大会開催

9月24日(日)8:30~令和5年度の歩け歩け健康作り大会を開催しました。今回は公民館からひじり山頂上までの往復8kmのコースでした。当日は3歳の幼児から最高齢83歳の方までの総勢28名での挑戦でした。公民館から登山口までの工程は今夏の大雨で道路修復の工事を行っていましたが、当日は日曜ということもあり工事はやっていませんでした。公民館から登山口までの行程は緩やかな登りで計2回の休憩を挿み皆さん楽々到着。登山道に入るといきなり急坂の出迎えを受け山頂までそこそこの急坂を登って登頂します。途中で家康の腰掛け岩と言われている岩を見ながら順調に高度を稼ぎ30分程で登頂できました。山頂では、小休止をしてグループ毎に記念撮影。児童は西部小の伝統オペレッタ『ひじり山のお皿様』のモデルの岩神様に前に校長先生から解説をうけていました。後日児童等に公民館長名でひじり山登頂証をグループ毎の写真入りで発行し記念品としてプレゼントしました。今回は往復8kmを83歳と3歳の参加者が児童のペースに遅れることなく完歩でき驚きました。



【いきなり急斜面】



【山頂での記念撮影】



【3歳、83歳登頂記念】

## 園児・5年生対象のお楽しみ会開催

10月5日(水)西部公民館に於いて西部保育園園児と西部小5年生児童を招待してお楽しみ会を開催しました。今回は岡崎の人形劇団 手風琴を招いての講演でした。この事業は園児に公民館を身近に感じてもらうことを目的とした取り組みの一貫で年2回10月と1月に開催しています。本年度1回目はパネルシアターと人形劇。2回目は腹話術を予定しています。今年も昨年に引き続き5年生児童も対象に加えました。毎年5年生は敬老会のプレゼントを制作してくれており、そのお礼の招待です。



園児はパネルシアターでの動物当てクイズなど大人でもなんだろうと思う絵を見て、すぐにカタツムリ、バッタ等即答しており子供の頭は柔らかいなど感心しました。演者も踊り、ウクレレを交えた進行で園児たちは充分楽しんでいました。対象が園児と5年生ということで5年生に楽しんでもらうのはどうだろうと思いましたが、西部小児童は一緒になって場を盛り上げてくれました。





## 城跡花一杯活動今年も開催

今年で3年目となる城跡花一杯活動が10月21日(土)10時から開催されました。当日は風が強めで例年より少し寒く感じましたが文科省副大臣の今枝宗一郎さん、青山市議会議員、小学校の先生方、区議員、児童、保護者出席のもと総勢50名以上の参加者により主郭跡地東側の一部に3,000球程度の水仙を植え付けました。『本年も皆さん沢山の球根の寄付ありがとうございました。』今回植え付けた面積は主郭の1/10に満たない面積で来年以降も花一杯活動は継続していきます。主催の城跡保存会より皆さんに来年以降も水仙の球根の寄付を宜しくお願いしたいとので、来年この季節には又、皆さん寄付をお願いします。9月26日に行った秋の城跡整備作業により雑草も刈り取られ、主郭南側法面も一部雑木、竹の伐採も済んでおり主郭からの南側眺望は非常に良くなっています。来年春の水仙、桜の花の咲く頃に城跡に足を運んでみてください。



保存会会長挨拶

今枝議員も植え付け

参加者植え付けの様子



## 生涯学習講座『押絵』を開催

10月21日(土)13:30から西部公民館の毎年恒例『押絵講座』を開催しました。今回のテーマも毎年恒例、翌年の干支である辰です。今回は三河湾ネットワークの取材を受けながらの制作となり、インタビューを受けながら制作している方もみえました。放送は令和6年1月1日の新年を迎える番組の中で放映されるようですので公民館だよりの写真では分からない押絵というものがよく分かると思いますので皆さんご覧ください。講座は1回2時間3回の計6時間開催し、皆さん完成させて新年を迎える準備をしています。



取材を受ける尾藤先生



制作状況撮影中



完成予定の龍

## みかんの丘ぐるりんバス利用実績

9月の乗車人数は合計148人でした。1便当たり平均乗車人数は1.2人です。11月に入り紅葉シーズンですね。車窓からの景色も赤や黄色と町の木々や山が色鮮やかになります。紅葉を楽しみながら、みかんの丘ぐるりんバスに乗ってお出かけください。

## 鵜殿氏の研究のこぼれ話(3)

### 甲賀・伊賀の忍者について (石井文雄)

幕府お抱えの忍者は、甲賀衆や伊賀者として括られ、有事の際に忍者的な活動を期待されました。彼らは、一代限りは殆どなく、伊賀・甲賀をルーツとする地侍(郷土)の家柄でした。日常茶飯事では、農民や商人、製薬・売薬を業としたり、朝熊山や飯道山の山伏をして世間の目を欺く、そういう気風がかったの故郷での暮らしでした。

忍者のルーツは、聖徳太子や役行者のような超人に求めることもありますが、平安時代の後半に、荘園経済の綻びで、生活のために武装して、領主側を侵略する悪党と呼ばれる集団が次第に地域的に結合し、紛争を解決することが横行しました。特に有名なのが、滋賀県の甲賀地方と、三重県の伊賀地方です。特に、甲賀地方は、現在は甲賀市と湖南市ですが、東海道や中山道とも近く、意外なことに文化財と歴史遺跡の宝庫です。

戦国時代の忍者たちは、自分たちの統制を大名や幕府に委ねることを好みません。ごく一時的なことで、近江の守護の末裔である六角氏を支えたり、足利將軍家の地方亡命を支えるボスでもありました。織田信長が尾張に起こって、美濃や近江を侵略して、京都を目指す時代には、先んじて信長の先兵となった滝川や山岡が出世して、従来の半兵半民の郷土が迫害されて没落しました。貴種の家系として源平藤橘を誇る家もありましたが、それに匹敵する勢力が伴氏です。意外にも、伴氏は三河にルーツがあります。旧家は、必ず伴善男や助兼を盛り込んだ系図を持っていて、家紋に木瓜を使いました。

永禄五年の徳川家康による上郷城攻略では、忍者が起用され、三河武士にその戦闘力を示す大宣伝となりました。甲賀の伴与七郎、中務少輔、太郎左衛門などは、特に有名ですが、記録に埋もれた家もあります。私は、伴与七郎の子孫の家をたずねたことがあります。

伊賀の服部半蔵正成は、十六神将にも登場します。上郷城を受領した久松家との縁故から桑名や松山の重臣として続いた家では、代々が服部半蔵を襲名しました。

## 茶道クラブお月見会開催

9月27日(水)に茶道クラブが中秋の名月には少し早かったですが、お月見会を公民館で行いました。コロナ禍で暫く開催出来ませんでした。本年度は無事に開催でき部員の皆さんも静寂、緊張のなかお点前を披露して見えました。薄曇りの天候で月も見えたり隠れたりでしたが皆さん楽しんで見えました。



## 公民館からのお知らせ

公民館二階講義室にミラーを追加設置しました。既設の鏡の設置位置が舞台側に寄っており、公民館利用のダンスチーム、体操等鏡を見ながら練習したい方たちには使いづらい状態でした。今回壁掛け1.8mを追加し更に可動式も合わせて設置したことにより、幅6.6mの範囲で鏡を見ながら行いたい様々なことへの利用が可能になりました。1人~多人数で鏡を利用したい活動をした方のご利用をお待ちしております。

新設壁掛け1.8m+可動1.8m+既設3m

